

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	45 -	事業名	生きがいセンター運営事業	担当部課	福祉部長寿課
------	------	-----	--------------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	款	3	民生費
		施策の進め方	—		項	1	社会福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	目	7	生きがいセンター費
		政策分類	3	地域にある施設の活用を推進する	大事業	2	生きがいセンター運営事業
	その他(関係法令、要綱等)		長久手市高齢者生きがいセンターの設置及び管理に関する条例				
事業開始の背景、経緯等		高齢者への就業の場の提供及び健康の増進と社会交流を図り、高齢者の生きがい活動を推進するため、センターを設置している。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 高齢者の憩のためのレクリエーション・教養向上・交流・ふれあいを図り、高齢者の生きがい活動を推進する施設の運営管理を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の満60歳以上の市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者が、教養向上・交流・ふれあいの場として、生きがいを持って気軽に施設を活用できるようにする。					
	事業を構成する事務事業	①	生きがいセンター運営事業	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		事業費(A)	千円	予算 決算	 	 	7,952 8,233	8,165 8,289
	人件費(B)	千円	決算	 	 	1,757	1,910	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	 	 	9,990	10,199	

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A	施設利用者数	人	目標	15,590	16,210	16,830	18,742
実績				13,568	15,370	16,454	24,113	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 指定管理者指定申請書により目標値を設定。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町においても同様の施設を設置している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標値を上回っており、高齢者の教養向上・交流・ふれあいの場として活用されている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 一部の利用者による固定利用に偏っているため、より多くの方に利用していただけるような施設の周知、啓発が期待される。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域サロン等の地域活動の拠点として、高齢者だけでなく、地域の多世代の交流の場としての活用を検討していく必要がある。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 市役所の再整備事業に合わせて、施設の内容、利用方法の見直しを行う。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	生きがいセンター運営事業								
番号	①	事務事業名	生きがいセンター運営事業		款	3	項	1	目	7	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成4年度			終了（予定）年度	-							

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<b>【対象者】</b> 満60歳以上の市民 <b>【内容】</b> 高齢者の方の憩のためのレクリエーション・教養向上・交流・ふれあいを図り、高齢者の生きがい活動を推進するための運営管理を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	高齢者が、教養向上・交流・ふれあいの場として、生きがいを持って気軽に施設を活用できるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			7,952	8,165	8,227
		決算			8,233	8,289	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
施設利用者数	人	目標	15,590	16,210	16,830	18,742	19,732
		実績	13,568	15,370	16,454	24,113	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

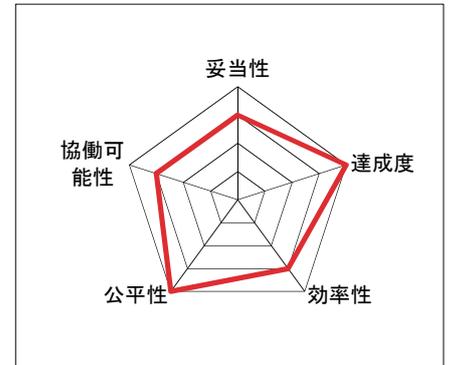
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
市役所再整備が計画されており、一体的な事業としての施設の再整備が見込まれる。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
地域の高齢者の交流の場として、広く活用してもらうため、今後も事業を継続する。
(何をどのような状態に改善したのか)
会議室予約を先着順から抽選方式に変更することで、利用の公平性を図った。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
平成26年10月設置した軽飲食コーナー「おふくろの味処」、交流スペース「プラザ憩」は、利用者数を着実に増加させている。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
生きがいセンターの認知度をさらに上げるための取組みが必要である。

## 7. 今後の方向性

拡充
----

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
地域の高齢者の交流の場として、また、シルバー人材センターとしての活動の幅を広げるためにも柔軟な利用が可能となる改善を図り、今後も事業を継続する。